

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

卵巣漿液粘液性腫瘍における臨床病理学的および遺伝子学的検討に関する研究

1. 研究の対象

2015年9月1日～2023年11月30日までの期間、東海大学医学部附属病院婦人科で手術療法を受け、漿液粘液性境界悪性腫瘍および漿液粘液性癌の組織像を含む類内膜癌と診断された方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2028年3月1日 まで

3. 研究目的・方法

下記の試料・診療情報等を利用し、卵巣漿液粘液性腫瘍について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において卵巣漿腫瘍の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに卵巣漿液粘液性腫瘍のデータを選び、卵巣漿液粘液性腫瘍に関する分析を行い、卵巣漿液粘液性腫瘍の組織型や遺伝子変異について調べます。

この研究に使用する試料として、すでに保存されている項目4に記載する検体等を使用させていただきますが、氏名、生年月日などの該当者を直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、該当者の情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

・試料：切除検体

・診療情報等：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、既往歴

5. 情報の提供先・提供方法

なし

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. この研究に携わる研究者およびお問い合わせ先

東海大学医学部附属病院

研究責任者 病理診断学 梶原 博

お問い合わせ担当者 病理診断学 宮原 佐弥

(電話：代表 0463-93-1121 PHS：5492)